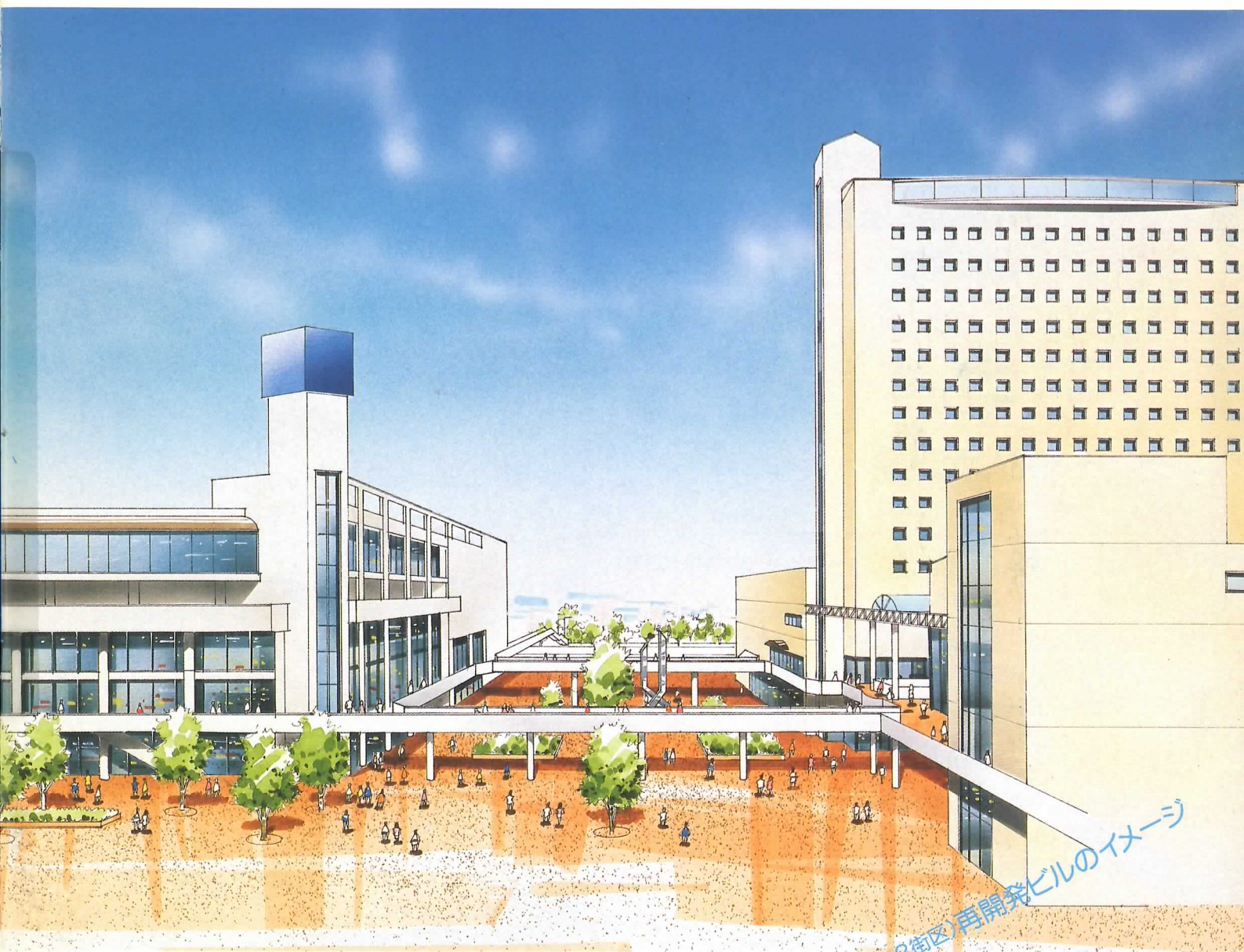


太田川駅周辺地区
まちづくりニュース

1989.3

おおたかわ

Vol.
3



駅前地区(駅西第1・2街区)再開発ビルのイメージ

アンケート 生かして 住みよい まちづくり

平成元年3月

東海市都市開発部
中心街整備対策室

まとまる！アンケート調査

太田川駅周辺地区
まちづくりアンケート

■ アンケート調査にご協力ありがとうございました。

太田川駅周辺地区のまちづくりについては、すでに説明会、パンフレット及びまちづくりニューズなどでお知らせしましたように、東海市の表玄関にふさわしい中心街づくりを進めていくため、鉄道高架事業、土地区画整理事業及び市街地再開発事業を三位一体とする総合的、かつ一体的な市街地整備の実施を予定しております。

新しく生まれ変わろうとしているまちを、より魅力的で快適なまちにしていくためには、美しいまち並みを形成したり、まちのデザインを向上させていくとともに、現在のまちの良さを残していく必要があります。

そこで、太田川駅周辺総合整備計画策定業務委託（地域設計研究所㈱）の中で実施しました太田川駅周辺地区まちづくりアンケート調査の結果が皆さんのご協力を得て次のとおりまとまりました。

この調査結果を参考に皆さんと一体となり、まちづくりを推進したいと思いますので、今後とも皆さん方の積極的なご参加とご協力をお願いします。

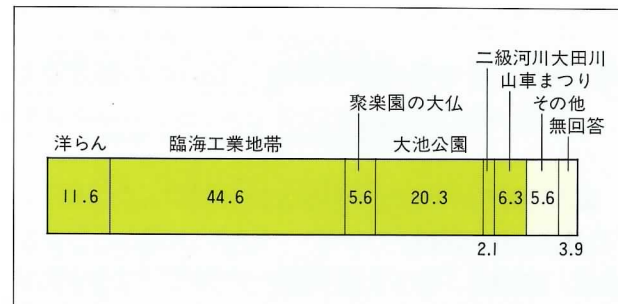
調査時期	昭和63年8月
配布地区	大田町の全世帯、中央町及び高横須賀町の一部世帯、区画整理予定区域内の地権者
配布方法	戸別配布 又は 郵送
配布数	2,921票
回収数	286票

A 魅力的なまちづくりについて

1. 東海市を象徴するにふさわしいものとしては、何があげられますか。（1つ選択）

東海市の象徴は「臨海工業地帯」が44.6%で、「大池公園」が20.3%、「洋らん」が11.6%となっており、「鉄」の町のイメージが強く残っているようです。

図1 東海市の象徴について



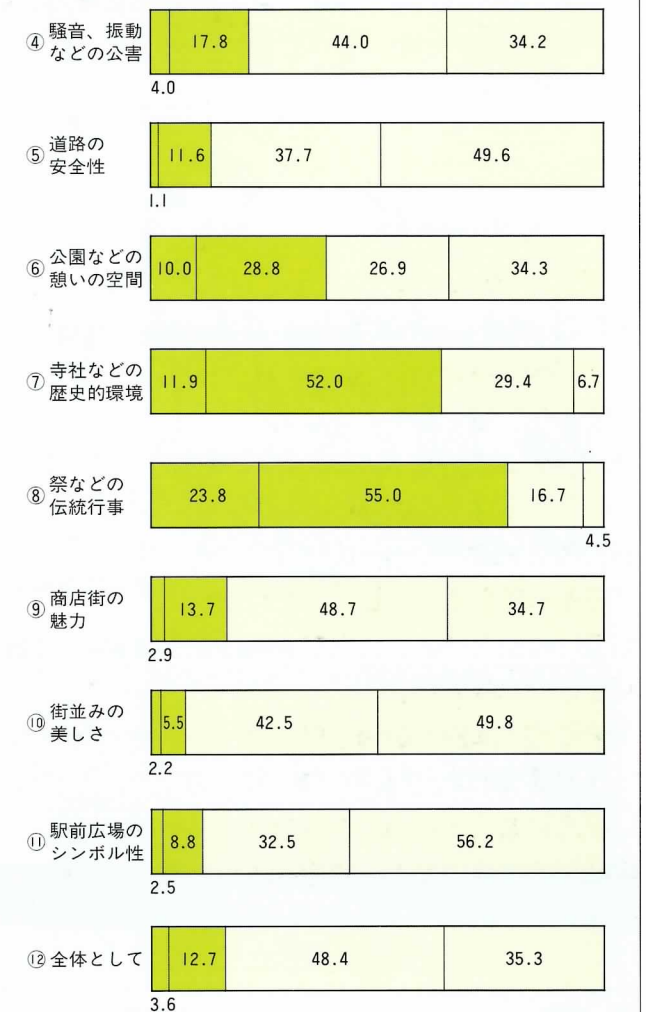
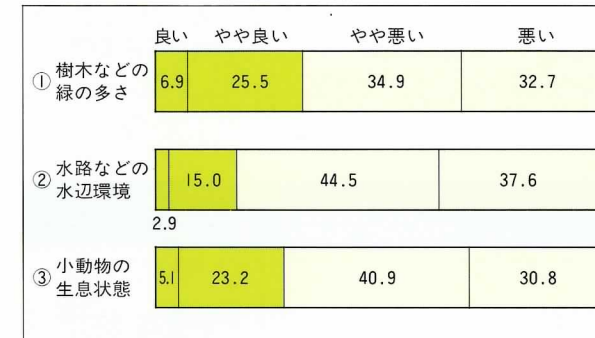
駅前地区の再開発構想のイメージ

2. 現在のまちについて、どのように感じていますか。（項目ごとに1つ選択）

現在のまちの全体評価は、16.3%が「良い」又は「やや良い」と答え、83.7%が「悪い」又は「やや悪い」と答えており、地区の現状に対してはかなり厳しい評価となっています。

個別評価もこの総合評価の結果を反映した形となっており、「良い」及び「やや良い」という評価が50%を超えているのは「⑦寺院、神社などの歴史的環境」（「良い」と「やや良い」を合わせて63.9%）、「⑩祭などの伝統行事」（78.8%）の2項目のみであり、「⑩街並みの美しさ」（92.3%）、「⑪駅や駅前広場のシンボル性」（88.7%）、「⑤道路の安全性」（87.3%）、「⑨商店街の魅力」（83.4%）などでは「やや悪い」及び「悪い」という回答が8割を超えています。

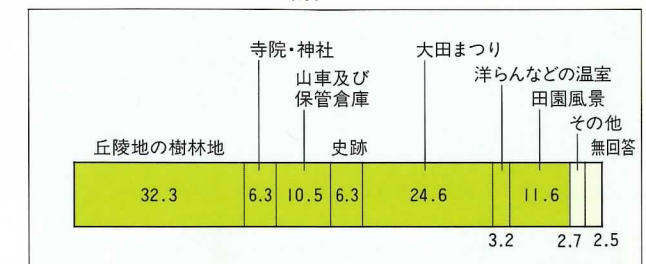
図2 現在のまちの評価（地区全体）



3. 現在のまちの中で、将来残しておきたいと思うのは何ですか。（1つ選択）

「丘陵地の樹林地」（32.3%）がもっとも多く、次いで「大田まつり」（24.6%）、「田園風景」（11.6%）、「山車及び保管倉庫」（10.5%）という順であり、自然的要素と文化的要素の保全意識が表れています。

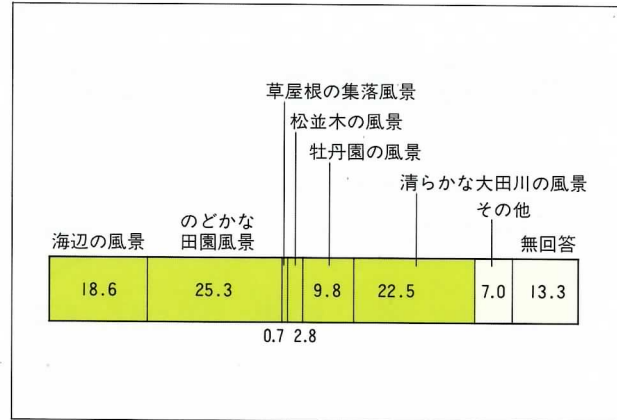
図3 将来残しておきたい風景



4. 昔の風景で、現在面影はほとんどみられないが、心に残っている印象的あるいは美しい風景はありますか。(1つ選択)

昔の風景では「のどかな田園風景」(25.3%)、「清らかな大田川の風景」(22.5%)、「海辺の風景」(18.6%)という順であり、他の項目は全て10%以下となっており、いずれも自然的な風景があげられています。

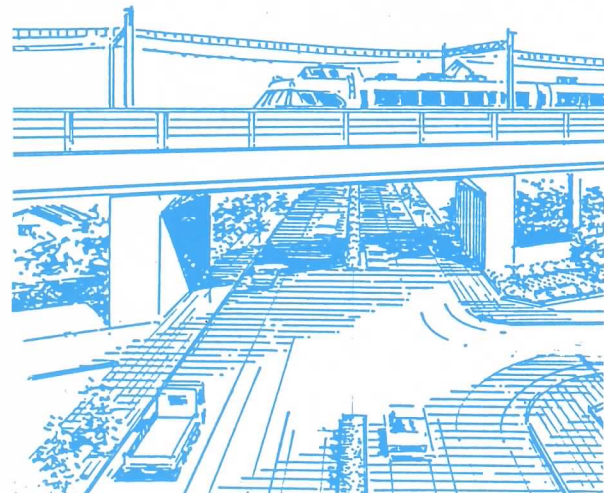
図4 昔の風景



5. 今後、何を重点的に整備していく必要があると思いますか。(3つ以内選択)

重点整備の必要性では「⑪鉄道の高架化」(155票)、「①幹線道路の整備」(116票)、「③歩行者のための道路整備」(85票)、「⑥下水道の整備」(76票)、「④駅前広場の整備」(74票)などの地区の骨格となる都市施設の整備が上げられており、この5項目が全体の約6割を占めています。

他は全体的に分散していますが、生活道路の整備、公園・緑地の整備、河川環境の整備、商店街の整備、自転車置場の整備などの日常生活の利便性の向上に関する項目が上位を占めています。



6. 将来、どのようなイメージのまちになると良いと思いますか。(1つ選択)

将来イメージは「①うるおいと親しみのある快適なまち」と「③個性的で東海市を象徴するようなまち」が27.7%、「②活気にみちたにぎわいのあるまち」が21.1%と、この3つで全体の76.5%を占めています。

図6 将来イメージ

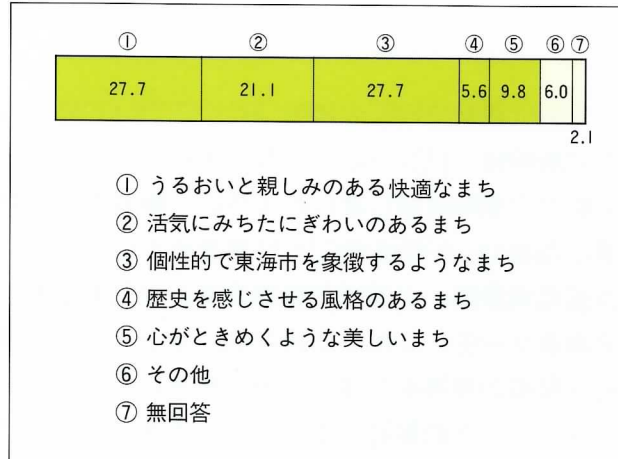
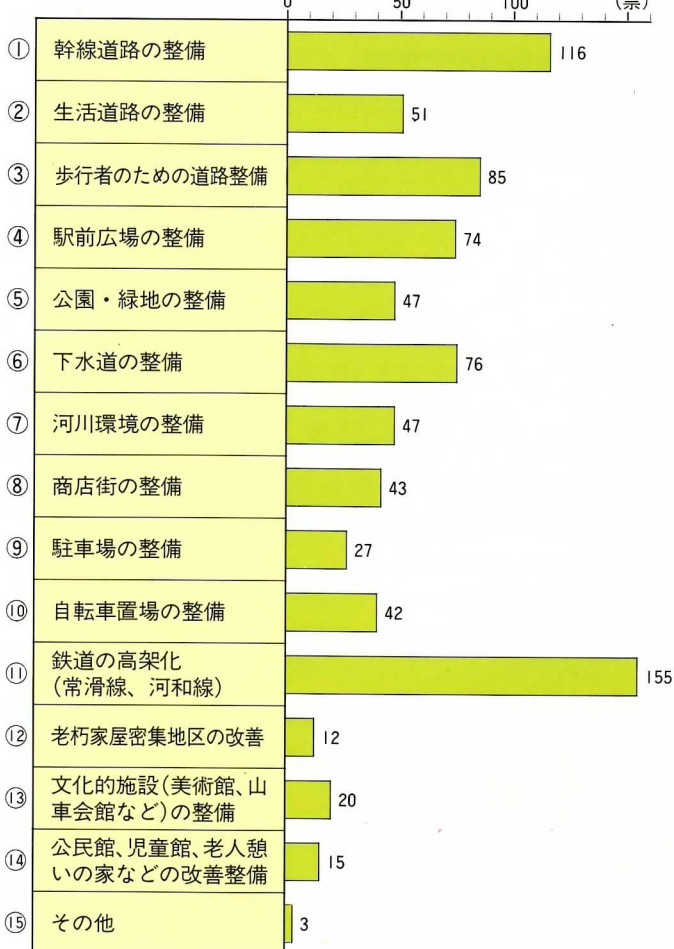


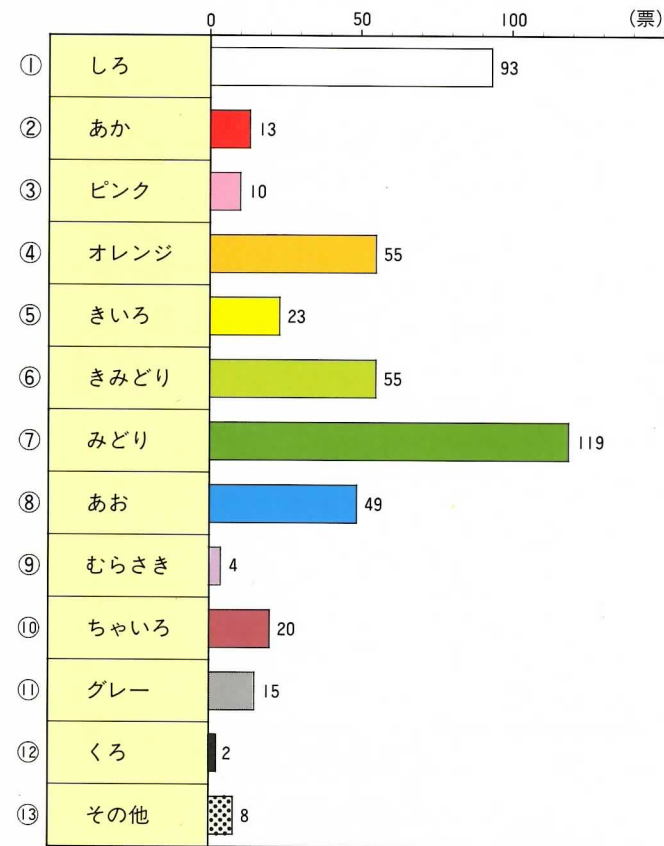
図5 重点整備



7. 何色が似合うまちだと思いますか。(2つ以内選択)

「みどり」が119票と最も多く、以下「しろ」(93票)、「オレンジ」(55票)、「きみどり」(55票)と続いており、明るいカラーをイメージしているようです。

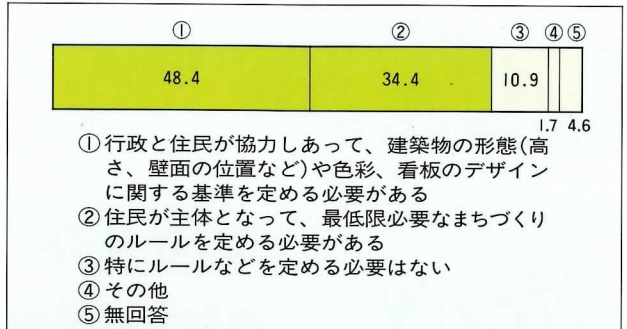
図7 イメージカラー



9. 美しいまち並みを形成していくためには、まちづくりのためのルールを定めるなど住民の皆さんの協力が必要となりますが、これについてどう思いますか。(1つ選択)

まちづくりのルールに関しては「①行政と住民が……」(48.4%)が最も多く、以下「②住民が主体となって……」(34.4%)、「③特にルールを定める必要はない」(10.9%)となっており、なんらかの形で住民参加によるルールづくりの必要性を認めています。

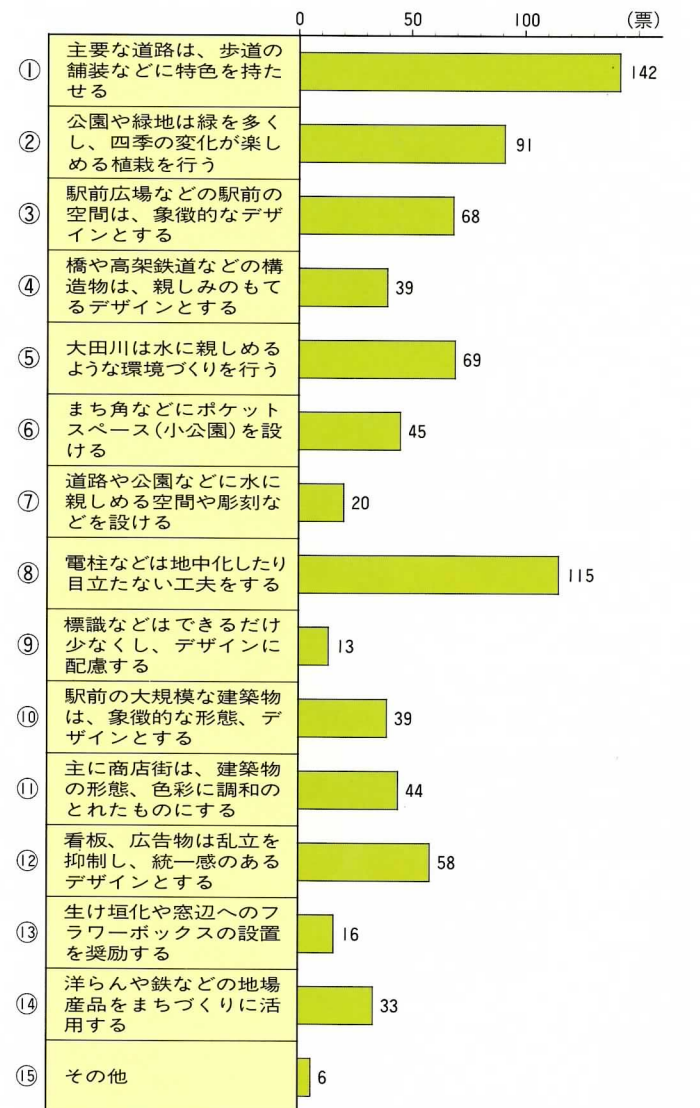
図9 まちづくりのルール



8. 魅力的で美しいまちづくりを行っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内選択)

景観整備の項目では第1位が「①主要な道路は……」(142票)で、第2位が「②電柱などは……」(115票)となっており、道路関係の景観整備が上位を占め、以下は「②公園や緑地は緑を多く……」(91票)、「⑤大田川は水に親しめるように……」(69票)、「③駅前広場などの駅前……」(68票)などが続いており、身近な公共空間での景観整備の必要性があげられています。

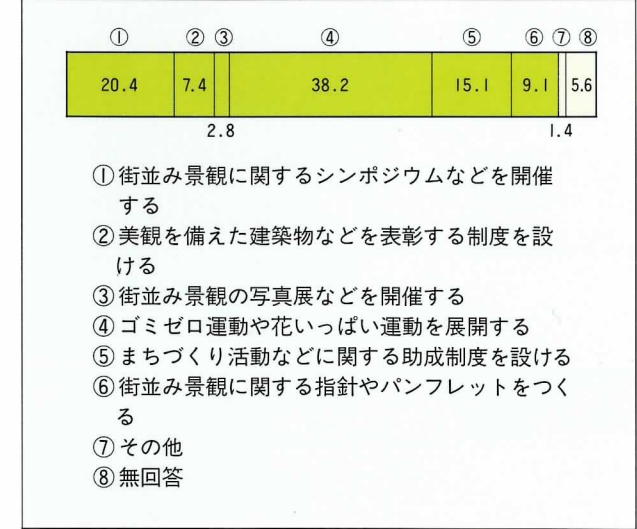
図8 景観整備



10. 美しいまちづくりを推進していくためには、住民の皆さんのまちづくり意識の向上や行政の支援などが必要となりますが、これについてどう思いますか。(1つ選択)

景観整備の推進方策については「④ゴミゼロ運動や…」(38.2%)が最も多く、以下「①街並み景観に関する…」(20.4%)、「⑥まちづくり活動などに…」(15.1%)などが続き、他の項目はいずれも10%以下となっており、比較的身近な範囲における推進方策の必要性を感じているようです。

図10 景観整備の推進方策について

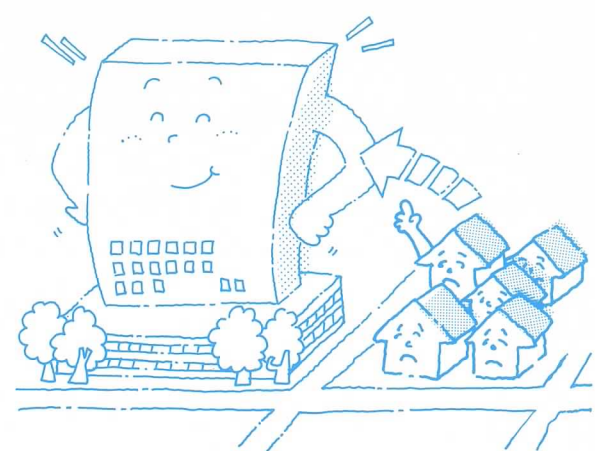
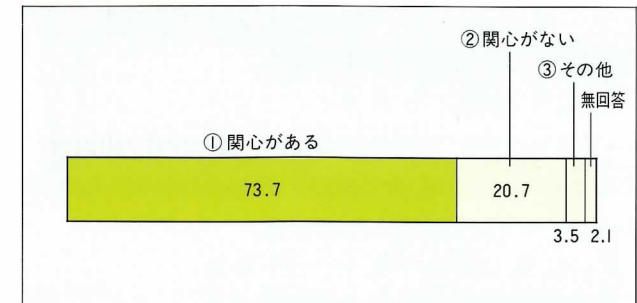


B 市街地再開発事業について

11. 土地区画整理事業に合わせて、商業・ホテル・住宅などが複合する再開発ビルを建設し、表玄関にふさわしいまちづくりを推進することが計画されていますが、これについて関心がありますか。(1つ選択)

再開発事業に対する関心の度合は、回答者の73.7%が「①関心がある」と答えており、関心の強さが表れています。

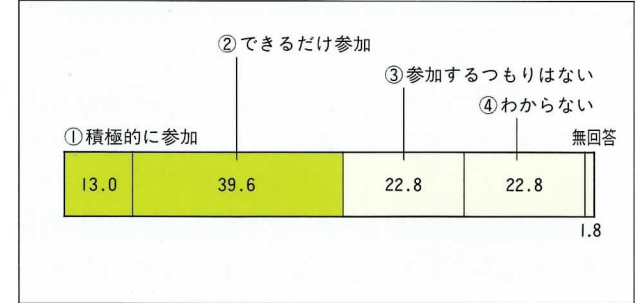
図11 再開発事業に対する関心度



12. 駅前に再開発ビルが建設されるとすれば、これについてどんな考えをお持ちですか。(該当するものすべて選択)

全体では「①積極的に参加したい」が13.0%、「②できるだけ参加」が39.6%、「③参加するつもりはない」が22.8%、「④わからない」が22.8%となっており、現時点で回答者の52.6%が参加の意向を持っています。

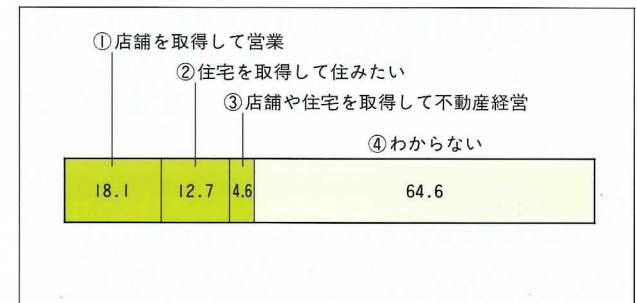
図12 再開発事業への参加意向



13. 駅前に再開発ビルが建設されるとすれば、これについてどんな考えをお持ちですか。(該当するものすべて選択)

再開発ビルに対しての考えは、「④わからない」が64.6%を占めており、再開発ビルのスタイルがはっきりしていないため、現時点では明確な意思表示を避けたようです。

図13 再開発ビルに対して



14. 再開発事業について、どのような疑問点、心配、不安がありますか。(3つ以内選択)

「①自分の住むところがどうなるか知りたい」が166票と最も多く、以下「②土地や建物の所有権がどうなるか知りたい」(85票)、「④どの程度の資金が必要になるか知りたい」(81票)と続いており、現在の居住や営業に対する再開発事業の影響についての関心が高まっていることがわかります。

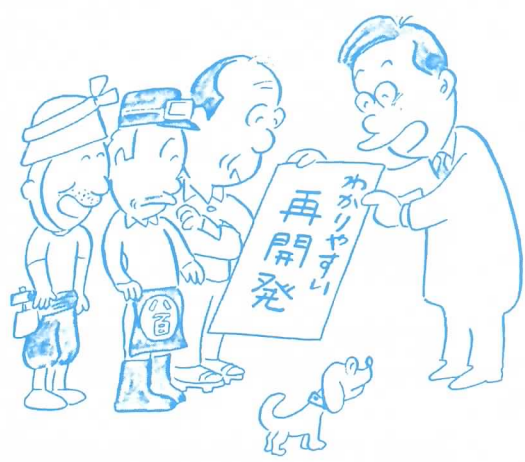
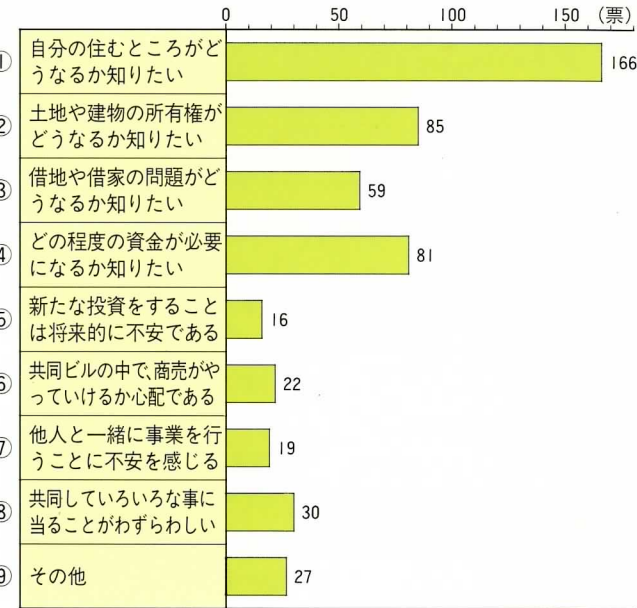


図14 再開発事業に対する疑問・不安など



まちづくりのあゆみ

年	昭和63	64. 平成元年	
月	8	11	12 2
内 容	● 調査委員会(第三回)開催 実施 確認に伴う土地の境界立会い(地区界測量) ● 太田川駅周辺土地区画整理事業の施行地区の再開発説明会開催(対象 駅東地区地権者) ● 再開発説明会開催(対象 駅西地区地権者) ● 豊田市駅西口第一種市街地再開発事業協議会先進地視察 ● 太田川駅周辺整備計画協議会(第七回)開催 ● 再開発説明会開催(対象 商工団体) ● 調査委員会(第二回)開催 ● まちづくりニュース「おたがわ」(第二号)発行 ● 太田川駅周辺総合整備計画策定調査委員会(第一回)開催		

※地区界測量：土地区画整理事業施行地区界の境界点の位置を測量するとともに、地区の総面積を求めることを目的とした測量で、土地所有者等の立ち会いを求め、地区境界点の位置を決定します。



地区界測量にご協力をいただき、ありがとうございました。



ACT 20 TOKAI

1989 — 東海市制20周年

ものと心の新たな創造をめざして

東海市20周年記念事業

「鉄」と「ラン」を中心に四季に分けたまつり

- 春の「花のまつり」(4～6月)
- 夏の「光のまつり」(7～9月)
- 秋の「豊かなまつり」(10～11月)
- 冬の「健やかなまつり」(12～1月)

とし市民、団体、企業そして行政が一体となつて各種の記念事業を実施します。

ご期待ください。

■ 公共用地の先買いにご協力ください。

土地区画整理事業の減歩率の緩和をはかる(平均減歩率20%に)ためには、道路・公園等の用地に充てるための公共用地の先買い(約29,000㎡)が必要です。現在、市では土地(原則として更地)の買収を行っております。

土地区画整理事業(予定)の施行区域内(64.3ha)で売っていただける土地があれば、ご相談のうえ買収してまいりますので、中心街整備対策室までご連絡ください。

■ 建築行為等される方は、事前に市へご相談ください。

まちづくりを進めるためには、皆様のご理解とご協力が必要です。

現在、建築行為等をされる場合、土地区画整理事業上での法的な規制はありませんが、建築や工事を無計画・無統制に行われますと、まちづくりの障害となるばかりでなく、計画的なまちづくりをすることができません。

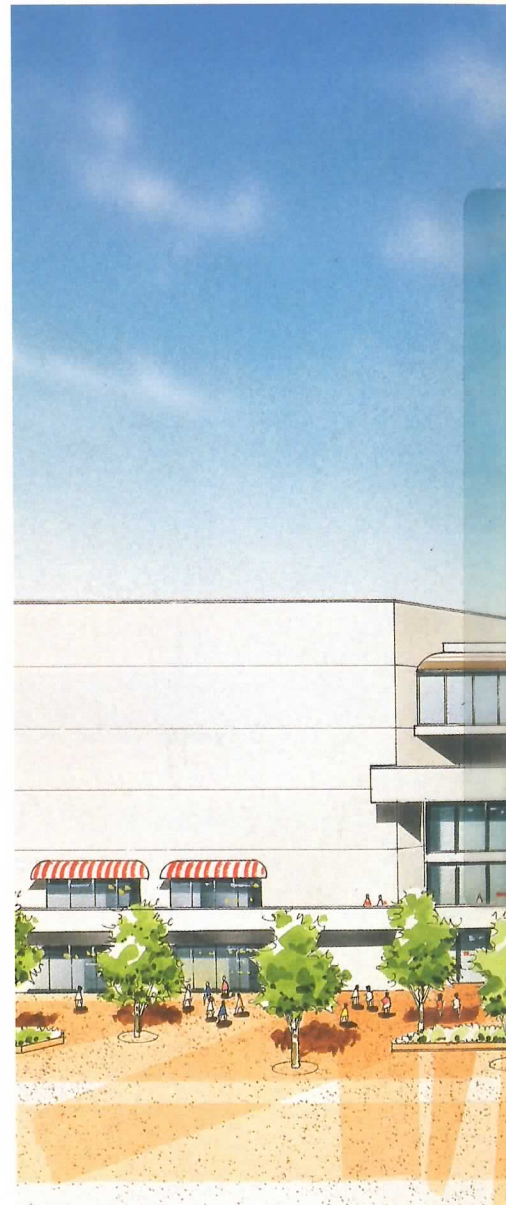
土地区画整理事業(予定)の施行区域内(64.3ha)で建築物等の新築・改築・増築をされる方は、事前に中心街整備対策室までご連絡ください。

■ 再開発事業に参画される方は、市へ申し出ください。

商業の活性化及び土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図り、市の「表玄関」にふさわしいまちづくりをするため、土地区画整理事業(予定)の施行区域(64.3ha)のうち駅前地区(駅西第1・2街区、駅東第3街区)において市街地再開発事業(組合施行予定、土地区画整理事業との合併施行)を計画しております。

再開発事業に参画を希望される方は、中心街整備対策室までご連絡ください。

太田川駅周辺地区のまちづくりは、皆さんと市が一体となって、初めて実現可能です。
東海市の「表玄関」にふさわしい中心街づくりを推進するため、
皆さんの積極的なご参加とご協力をお願いします。



このニュースは、皆さんと市が一体となって
まちづくりをするための資料です。
大切に保存してください。

●まちづくりのお問い合わせは

〒476 東海市中央町一丁目1番地
東海市都市開発部中心街整備対策室(市役所4階)
TEL. 0562-33-1111・052-603-2211(内線 471～473)